

■R02.04.06 市長定例記者会見内容

日時 令和2年4月6日(月)午前11時～11時30分

場所 第1委員会室

出席 市長、教育長、総務部長、危機管理監、企画部長、地域創生部長、地域創生部交流推進調整監、健康福祉部長、教育次長、企画調整課長、健康課長、市長公室長
酒田記者クラブ 10社(山形新聞、荘内日報、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、河北新報、NHK、SAY、TUY、YBC)

■市長発表内容

なし

■懇談・フリー質問

【新型コロナウイルス感染症に関することについて】

記者／昨夜ついに庄内、鶴岡市でも初めての感染者が出た。県内で感染者が相次いでいる中、まず所感をいただきたい。それを受けて対策について何か考えていることがあれば伺いたい。

市長／鶴岡でも出たということで、「ついに来たか」という感じ。我々もいずれこの地域も例外ではなく、患者が出るだろうということは想定しつつ対処をしてきた。新型コロナウイルス感染症対策本部会議も11回やっており、地域を挙げて感染拡大防止策を講じていく必要がある。その決心は3月以降変わってなく今も持ち続けている。様々な対策を今後もっと強化してやっていかなければならないだろうと思っている。小学校、中学校は再開を予定していたが、今回の措置を受けて小学校、中学校の臨時休業の延長を判断した。さらに、始業式、入学式の実施についても小学校、中学校ともに延期をしていきたい。小学校、中学校だけではなく、市民の皆様にも、大変ご不便をおかけしているが、3密を避けるためにいろいろな方策を講じて会合等はやっていただきたいという要請をもっと強めていく必要があると思っている。そういう意味では日本国中、大変な思いをして頑張っている皆さんが多くいるわけだが、酒田市でもしっかりと感染拡大防止に向けて対策をとっていきたいと考えている。

【市独自の経済支援策について】

記者／自粛・休校などで様々な業種で経済的な影響が出ていると思う。市として経済的な支援を行われる予定や考えがあれば伺いたい。

市長／国でもこれからいろいろな対策を打ち出してくるが、そういったことを受けながら市独自の支援策についても内部で検討を進めている。4月下旬に臨時議会を開いて補正予算措置を講じなければならないと思っており、その際に市独自の支援策、特に業績が悪化している業界の皆様に対する経済支援策についてもしっかりと打ち出していきたい。今はその骨組みを作っている状況なので、もう少し時間をいただきたい。

【小中学校の休業延長について】

市長／臨時休業の延長に対する対応について教育長から説明申し上げる。

教育長／臨時休業の延長について本部会議を経た結果について説明申し上げる。酒田市の小学校、中学校すべて臨時休業を延長し、延長の期限は今のところ4月19日の日曜日まで延長する考え方。始業式、入学式については現在調整しているところだが、今の時点の方向性としては、始業式が小学校、中学校ともに4月20日月曜日。それから入学式は、小学校については4月21日火曜日または4月22日水曜日のどちらかの方向で調整している。中学校については始業式が4月20日となっている。これまでどういう予定であるか確認させていただくが、始業式について小学校の場合は4月7日または8日の予定であった。中学校については始業式が4月7日の予定であった。入学式については、小学校が4月8日または9日、中学校については4月7日の予定になっていたところ。このような予定で学校を再開するという進んで来ていたが、ただいまの状況が報じられた通り、県内での感染の拡大が広がっているという状況、近隣市においても発生している状況であることから、このような延期をすることとした。

【その他】

記者／先ほど経済対策について検討中ということだったが、具体的にはどのようなものを検討しているか。例えば鶴岡市では宿泊業や飲食業に割引券を出すという話だったが、酒田市においても似たようなものを考えているか。

市長／具体的に発表できるほど詰まってないが、鶴岡市のような対応は難しいと思っている。鶴岡市と酒田市では観光業を生業としている方々の層が違う。鶴岡市とはまた別のスタンスでの支援策を考えていきたい。新型コロナウイルスの関係で苦しんでいる業界にピンポイントで効果がいきわたるような市独自の施策的なものが構築できればいいという思いを持っている。国や県では利子補給制度であるとか保証料補給制度などがあるし、国でも1世帯30万円の支給制度を検討している旨の報道もあるので、そういった制度とは重複しない形で支援策ができればという思いで再度詰めている段階なので、もう少し決まるまで時間をいただきたい。まずは感染拡大を防止することに全力を注力するというので、そういう意味では市職員の行動規制も含めて、最大限感染拡大防止に向けた対策に力を入れている。経済対策については、その後に間髪を入れず講じていきたい。

記者／現在の酒田市の中でコロナウイルスに感染疑いの例や、庄内保健所にてPCR検査を受けている方など、酒田市で把握している例があれば状況を教えていただきたい。

健康福祉部長／酒田市内で検査をしている事例はあることは聞いているが、陽性疑いについては、我々の段階では把握はしていない。

市長／これまでも何件か検査をした事例はあるが、すべて陰性だったので、その都度ほっと

しているところではあるが、特に首都圏、近畿圏等から移動で来ている方がかなりいるので、報道機関の皆さんでもそのような方が多いと思うが、そういった方が発症するとか、濃厚接触者が発症するといったことがないとも限らないので、今後も注意深く結果を見守っていきたいと思う。

記者／現在PCR検査の結果を待っているという方はいるか。

健康福祉部長／そのことについても外部に検査機関の公表がされていないということがあり、我々も問い合わせをすることはあるが、その部分は答えられないといった回答をもらっている。

記者／庄内地方でも初の感染例が出た。市民にどういった行動をとって欲しいかという呼びかけを改めてお願いしたい。

市長／とにかく今は首都圏だけでなく、日本全体で感染拡大を防止するというのが大命題だと思う。従って首都圏と行き来があるという方と接触したり、あるいは3密と言われている空間での様々な会合の実施だとか、あるいはイベントだとか、これはぜひ自粛してもらって、「自分がうつらない。そして周りにうつさない。」このことに徹底してもらいたいという時期かと思っているので、市民の皆さんから協力をお願いしたいということを強く呼び掛けたいと思う。

記者／先ほど市長から職員も行動規制しているということだったが、具体的にどういったことをしているか。

総務部長／本部会議の中で協議したが、不要不急の会議は中止をしたいと考えている。また職員でここ2週間前に首都圏・近畿圏・中京圏に旅行等した職員については本日を起点として、帰ってきてから2週間は出勤停止としたいと考えている。また、外部との会議も極力止めて感染拡大を防止したいと思っている。またコミュニティ振興会や自治会では総会のシーズンにあるので自粛していただくような形で市民に向けて周知していこうと考えている。

記者／首都圏等から帰ってきた人の出勤停止はいつから。

総務部長／帰ってきてから2週間程度。新規採用職員でも4~5人、年度末まで首都圏等に勤めていた方がいるので、それについても対応していきたいと考えている。

記者／仮に明日からその対応をすると対象は何人くらいか。

総務部長／調査中。子どもの入学式とか、そういったもので行っていれば該当してくる。今後は控えてもらうという形を考えている。

市長／子どもの引っ越しの手伝いで東京に行ったり大阪に行ったり結構いるのでそういった職員が対象になってくる。明日以降については出張など外に出向くこと自体を控えてもらうことで徹底をしていきたい。

教育長／私の方からも関連して申し上げるが、先ほどの休業延長決定に至る背景の一つとして、県教育委員会から教職員が三大都市圏に出向いているかどうかの調査があった。山形県に帰ってきてから2週間を経過するまでは在宅勤務という方向で全県が動いていること

と思われる。調査はまだ終わっていないが、今日中には全校の調査結果がわかると思う。今の時点でも一定程度の学校に出れない教職員が出てきており、入学式等を挙行しようとしても難しいという状況が背景にある。そういったことでも市民の皆さんにはご理解願いたい。

記者／小中学校の休業延長に関して、学習内容の遅れについてなどいろいろ心配があるかと思うが、夏休みの短縮や補習授業とか対応策を検討している事項があれば伺いたい。
教育長／休業が長引くことについて様々な問題が出てくると思う。学習の進捗が遅れていくのは重要なポイントと思っているところ。現在のところ子どもたちの学習状況については、学校から出される宿題程度のものや自主的にするものしかない。これ以上遅れが大きくなってくると、例えば長期休業、夏休みとか年間の教育課程を大きく見直すようなことを検討せざるを得ないと思っている。まだ具体的な見直しというのは進んでいないが、前年度の3月から未履修のところは1部出てきているので、そこを4月になってから回復しようとしているわけだが、更にそれが延長ということになると、新学期における学習も進まないということになるので、その対策については教育課程の変更も含めて様々な方法を検討していきたいと考えている。なお、例えば登校日を設けるなどして、定期的に子どもの健康状態や学習の状況、あるいは困ったことがないとか、そういったことを把握できるかどうかを検討していきたい。教科書の支給について、まだ支給できない状況。これについても渡す方法について保護者に渡すということも検討しなければならないと思っている。そういった点も含め検討していきたいと思っている。

記者／東京都では感染者がたくさん出て、軽度の人についてはホテルなどを借り上げるといった対応をしているようで、これは山形県の対応かもしれないが、酒田市でも増えた場合に、そういった宿泊施設などを利用する可能性とか、県から照会がきているとか、そういったことはあるか。

市長／県からは照会は来ていない。しかしながら、これだけまん延してくると、想定範囲内に入ってくるので、市としては中核病院である日本海総合病院が中程度の患者を受け入れる。それから先ほどの宿泊施設とかで受け入れる。3段階に分けたときに中程度の患者を受け入れる施設、軽度の方を受け入れるための宿泊施設ということで、2つを内々には準備に入っている。最終的には県知事が対応を取ることになるが、市にそういった声がかかったときも混乱せずにスムーズに対応できるよう、準備体制の構築をしようということで進めているところ。具体的なところは市の段階でいうことはできないので控えるがそれに向けての準備をしっかりとやっている。

記者／臨時休校の延長について、学童保育はこれまで通りの対応か。

市長／これまで通りを予定している。今後の状況でどうなっていくかわからないが、現状ではこれまで通り対応していきたい。

記者／入学式について在校生や保護者の方の出席は、卒業式に準じる形になるのか。

教育長／学校を再開した時の入学式の在り方については、どのような計画をしていたかという、入学生・保護者・教職員・在校生という構成になっているが、3密を避けるということから体育館の広さと集まる人数を考慮した場合、在校生が全員入れるかどうか非常に難しい学校がある。在校生については必要最低限ということで、在校生でかなり対応が各校分かれてくると思う。来賓の方は必要最小限にする。ただ、これから新たに4月21日、22日、または中学校が20日の予定で規模をどのようにするのかというようなことについては、再度検討を加えてできるだけ早急に連絡できるようにしたいと考えている状態。大変心配しているのは、新型コロナウイルス感染の拡大傾向が止まらないという状況になった場合、入学式ができるかどうか、式の内容については推移を見ながら柔軟に検討していく必要があると考えている。

記者／保育園や幼稚園についてはどういった対応を検討しているか。

市長／基本的には今の体制を維持していきたいが、今後どのような状況になるかわからないので、拡大状況を踏まえながら臨機応変に対応していく必要があると思っている。現時点では、国・県の指導に則って現状通り対応していきたい。

記者／先ほど経済支援の話があったが、鶴岡市では市独自の経済対策を一度打ち出して方針を撤回した。丸山市長としては、経済支援、感染拡大防止のバランスについてどのように考えているか。

市長／まずは、感染拡大防止を第一義的に考えていきたい。それが一定程度手が打ちえた時点で、今度は経済支援という形で、これも何か手を打ったから即座に経済が好況するとかお客さんが入るようになることは無理でしょうから、一定程度期間はかかると思う。そういった意味では、足の長い経済支援策を講じていく必要があると考えている。二段階というか、まずは感染拡大防止、そして経済支援で疲弊した業界の皆さんを応援していくというスタンスで向かっていきたい。特に酒田の場合は飲食・宿泊関係がダメージを受けているところ。相談をしている方々の状況を見ると旅行業者も大変苦労されている。広く言えば一般小売り業とか農林水産業の皆さんも単価が下がってきているとかいろいろな経済的な不利益を被っている皆さんが多い。全ての皆さんを手助けするという経済支援対策はなかなか難しいとは思いますが、なるべく今支援の手を差し伸べなければならない業界の皆さんに手が差し伸べられるような経済対策を今の段階でしっかりと考えていきたいと思っている。今の経済対策で早計にいろんな手を打つことは、国の対応が見えない中では、あまり意味がないと理解しているので、国・県の経済対策を受けながら、それを補完する意味で、市が独自に何ができるかをしっかりと検討したうえで皆さんに示していきたいと考えている。

■その他

なし

◆その他配布資料

- ①酒田日和山桜まつりについて（交流観光課）
- ②酒田市みなと市場の正面ガラスに「ウインドサイン」を新しく設置しました（商工港湾課）